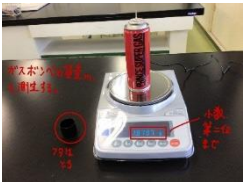
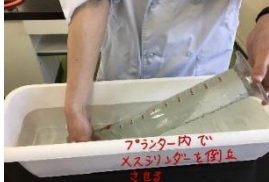


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立笠岡高等学校		
実践者等		安藤 和紀	実践日	令和4年5月12日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		理科・化学基礎(物質の質量と気体の体積の関係)		
対象生徒(学年等)		普通科2年		
育成を目指す資質・能力		■知識・技能 □思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	□クラウドやアプリの活用 □デジタルデータの保存 ■思考やデータの可視化		
		■データの共有や共同編集 □対話を充実させる活用 □思考を促す活用		
		□表現を充実させる活用 □課題のやり取りと評価の支援 □効率化や省力化		
		□その他()		
	家庭学習	□振り返り □探究 ■反転学習 ■補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 実験の実施 ・ 本時の目標を確認する。 ・ 家庭学習(解説動画の視聴)を踏まえて実験を行い、ドキュメントに記録する。     ・ 適宜、机間指導を行い、生徒の状況把握や実験補助を行う。 (2) 実験結果の考察 ・ 気体 1mol の体積を実験結果をもとに班で考えさせる。 ・ 班で導いた気体 1mol の体積を <u>iPad でスプレッドシートに記入し、結果をクラス全体に共有する。</u> (3) 本時のまとめと振り返りを行う。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 実験で使用する器具や実験操作の解説画像 <u>(Classroom にアップ)</u> を見て、実習の流れを理解しておく。				